



榎並 大二郎 (フジテレビアナウンサー)

<プロフィール>

1985年、東京都生まれ。
「バイキング!」や「すぽると!」の
キャスターなどを担当。
今春より「Live News イット!」
平日版メインキャスターを務める

日常と非日常が 交差する場所

建築家・丹下健三氏が手掛けた
お台場のランドマーク、フジテレビ本社ビル。
「見に行けるテレビ局」として
一般ゲストも積極的に招き入れている。
フジテレビアナウンサーの榎並大二郎さんに
この建物とのエピソードを伺った。



フジテレビ本社ビル
東京都港区台場2-4-8
管理開始：1997年4月
管理内容：清掃業務
管 轄：東京支社



「Live News イット!」
毎週月～金曜日
15:42～19:00
※一部地域では放送時間が
異なります

©フジテレビ

お台場のシンボルとして

学生時代に夢中で観ていた「踊る大捜査線」や「野猿」のMVの舞台であるフジテレビに憧れて入社試験を受けたのが今から18年前。その時の会場が、以前担当していた「すぽると!」のスタジオだったことに、不思議な縁を感じます。

丹下健三氏が設計したこの社屋は、近未来的で圧倒的な存在感があり、それでいて、お台場の街並みに溶け込み、誰もが訪れることができる開放感があります。出勤途中に視聴者の方から「いつも見えています」と温かな声をかけていただく機会もあり、この場所ならではの距離の近さを実感しています。イベントも頻繁に開催されていて、ここは職場であると同時に、青春時代の思い出と非日常のワクワク感を味わえる特別な場所です。

担当する番組によっては、レインボーブリッジの夜景やお台場の朝焼けを見ながら社屋を後にすることもあります。この場所で数えきれないほどの喜びも失敗も経験してきましたが、どんな時でも帰り際には社屋を振り返るのが私の習慣です。球体展望室「はちたま」は、その時々々の環境や自分の心情によって違って見えて、いつも気持ちを新たにしてくれます。

また、初めて子供と一緒に社屋の前で写真を撮ったことも大切な思い出です。子供と同じ目線で見上げる「はちたま」は、いつもよりずっと大きく、誇らしく映りました。

ここは私にとって仕事の原点であって、大切な思い出を刻んでいく場所です。そして、ここを訪れる人たちにとっても素敵な思い出になってほしいと願っています。支えてくれる方々への感謝を忘れず、これからもお台場を盛り上げていきたいと思っています。



「フジテレビ本社の写真を撮るのが好き」という榎並さん。おすすめの撮影スポットは、ペリーの黒船来航に備えて東京湾上に造られた第三台場跡地「台場公園」からの景色だそうです。